



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

# 園芸福祉ふくおかネット

## 花便り No. 59



- 目次
- ・ 土づくり研修会に参加して
- ・ 一人一花サミット2023
  - 「エッグプランツ体験講座」に参加して
  - 「アロマスプレー体験講座」に参加して
- ・ 博多高等学園でのハンギングバスケットづくり
- ・ 八幡西特別支援学校の園芸福祉体験学習
- ・ 新会員紹介
- ・ 回想記
- ・ 園芸福祉シンポジウムのご案内
- ※お知らせ

## 「土づくり」研修会に参加して

2023年11月26日 13時より 於/アイランドシティ中央公園内にて



吉松 里美

2023年11月26日(日)13時~ワークショップルームに於いて、谷口博隆相談役を講師として「土づくり研修会」が行われました。

まずは「園芸福祉ふくおかネット」のこれまでの活動のお話を伺い、県内外で幅広く、色々な行事に携わっていた事で、過去の実績が現在の活動に生きている事を再認識致しました。

そして土づくりの講義では、土壌の役割・良い土の条件・植物に必要な養分・肥料（有機質肥料の特性）・石灰の役割・堆肥等について、テキストに沿って分かりやすい説明をして頂きました。

知っている事柄もありましたが、講義を受けて初めて理解できました。今までは殆ど我流で、自宅ベランダで花を楽しんでいた私は目からうろこでした。

受講後、土壌診断の必要性を感じ、早速酸度計を購入して、自宅のプランターの診断をしたところ、半分近くが酸性でした。そして酸性土壌のプランターでは直ぐに枯れたり、生育が悪かったりしていた事が判明。今まで色々な肥料（花が良く咲く・根が張る等）を与えても上手く咲かない原因がコレ！だったんだと納得。そして直ぐに苦土石灰を購入し、少しずつ撒きながら調整しています。

今後は可愛い花を咲かせる為に、健康な土の管理に努めないといけない事を谷口さんの講義を受けて実感しました。

今後も植物に関わる研修会を定期的実施して頂ければ嬉しいです。



## 一人一花サミット2023 「エッグプランツ体験講座」に参加して

古後 利恵

2023年11月12日、植物園で行われた一人一花サミット2023「エッグプランツ体験講座」のスタッフとして参加しました。

当日は非常な冷込みの上、今にも雨が落ちてきそうな雲行き。

メンバーは、黒瀬さん、米倉さん、北野さん、諫山さん、私の5人。

エッグプランツは、諫山さんから以前プレゼント頂いており、どういう物か知ってはいたものの、作り方は知らず。「えー私でいいのですか？」と伝えるも、「教えるから大丈夫」と励まされ参加することになりました。

それにしても、プレゼント頂いた時の驚きと胸の高鳴りは忘れません。とにかく可愛い。凄いアイデアだなと思いました。

さて、当日先ず北野さんから作り方を教えて頂きました。不器用な私には、材料全てが小さくて難儀でしたがどうにか出来上がりました。

「うん！やはり可愛い。」その後、スムーズな作業順番や、わかりやすい教え方など話し合いをしながら1人分ずつの材料をセットしました。材料は50人分。この天気では参加者が少ないかも、と正直思っていました。

それでもぼちぼちとお客さんが入り始め、時には順番待ちになる程でした。3歳位～80代の方まで幅広い年代の方に参加頂きました。家族皆での参加、ひとりでもふらりと寄って体験していかれる方、皆さん最後には、出来上がった作品を眺めニンマリして帰って行かれるのでした。

教えるのが初体験の私は、心の中ではてんやわんやでしたが、一生懸命に作り方を聞いてくださるその眼差しや、卵が割れないよう集中して多肉を入れる姿、最後に飾りのピックを刺した時のご満悦な顔に、こちらが励まされ元気になっていたのです。

そしていつの間にか50人体験されました。

老若男女簡単に作れて可愛いくて、持ち帰った後育てる楽しみもある。素敵ですよ。

途中で会員の西川さんが、カイロを持ってきてくださったり、井上さんから差入れを頂いたり、またキッチンカーの美味しいカレー食べたりと、寒くはありましたが、心はほっこり暖かで、楽しい一日となりました。以上報告でした。



## 一人一花サミット2023 「アロマスプレー体験講座」に参加して



山川 公子

2023年11月11日、福岡市植物園で開催された'一人一花サミット2023'で、園芸福祉ふくおかネットは「オリジナルハーブスプレー作り」を行いました。

「オリジナルハーブスプレー作り」では、来訪者に興味をもってもらえるように、事前に作ったスプレーを噴霧しながらブースの前で実際に香りを体験してもらって、中に加える精油の種類などを話しながら参加を促しました。

ハーブスプレー作りは、用意した材料を計量し加え混ぜるだけなので、数分で完成します。その手軽さもあって、小さな子どもさん連れの親子など、複数のスプレーを作っていく方もいました。

参加者はハーブやアロマに興味がある人が主に来られており、あっという間に出来上がったハーブスプレーに喜んでいました。中には数種の精油を独自でブレンドしてオリジナルのスプレーを作成し、香りを楽しんでいる人もいて作る人の個性が様々でした。

精油は各々香りだけではなく効能もあるので、スプレー作成時に一緒に添付した「アロマオイルの効能と注意事項」を書いたレシピはとても参考になると思いました。

「オリジナルハーブスプレー作り」を体験して、例えばそれがハーブの精油を使った天然の虫よけだったり、良い睡眠を促すための香りのアイテムになったりすることを知ること、身近に手軽にアロマを楽しむきっかけになればいいと思いました。



## 博多高等学園でのハンギングバスケットづくり

黒瀬 恵子

2023年11月30日（木）、福岡市立特別支援学校「博多高等学園」で、園芸グループの生徒さん12名へ、副代表の諫山みどりさんと一緒にハンギングバスケットづくりの指導をさせていただきました。

博多高等学園と園芸福祉ふくおかネットとの関わりは、平成27年より職業技能者派遣事業として、当時、代表をされていた谷口博隆相談役と一緒に、土づくりやポチュラカの挿し芽の仕方、寄せ植えやハンギングバスケットづくりの講師として、生徒さんに園芸の指導をさせていただいたことがきっかけでした。博多高等学園は就労を目的として設立された学校で、生徒さんは、気持ちのいいあいさつは勿論、人の話を良く聞くことができ、最後まで一生懸命取り組む姿が素晴らしいです。

ハンギングバスケットづくり当日、体験1時間前に配達された花苗は、生徒さん達が次々と会場へ運び、花苗以外の材料も既に準備されていました。以前、先生が「楽しみにしながら生徒達と準備します」と言われていた、その時の光景が目浮かぶようでした。講師2名で1人分ずつの材料を手際よく臨機応変にセットしていき準備完了です。ハンギングバスケットづくりは、容器にスポンジを貼り付けたり、花苗をスリットに通して植え込んだりと、細やかで丁寧な作業が求められますが、ゆっくりと分かりやすい言葉で丁寧に説明するようにしています。先生3名も指導やサポートに入られ、細かな作業はモニターも使用して下さるので、どの生徒さんもきれいな作品に仕上げることが出来ました。各自、完成させた作品を大事に抱えて外に移動させ、管理で一番大切な水のやり方も、一人ひとり体験していただきました。

最後のお礼の言葉と共に「難しかったけど、楽しかったです」と生徒さんから言われ、指導させていただいたことをとても嬉しく思いました。ハンギングバスケットづくりを通して、植物や園芸に、より関心を深めることや、最後までやり遂げて達成感を得ることなど、少しでもお役に立てれば嬉しいです。



## 八幡西特別支援学校の園芸福祉体験学習

溝口 孝夫

今回は、八幡西特別支援学校から北九州市教育委員会のSDGs事業として「花(か)きを用いたプランターの寄せ植えづくり」を実施したいとの相談を受けての開催となりました。北九州市での特別支援学校での実施は3校目です。

八幡西特別支援学校は、以前から福島県の障害者施設とひまわりの交流活動を行っています。学校でひまわりを育てて種を収穫して送り、障害者施設が種から採油をしてひまわり油を作っています。高等部は、オアシスに花を挿してデコレーションする授業や生徒会は学校を花いっぱいにする活動をしています。花が大好きな児童生徒がいる学校です。

12月7日(木)午後からの園芸福祉体験学習で参加は生徒さん7名、教諭5名でスタッフ4名でした。肢体不自由な方の支援学校なので机の間隔など生徒さんの事前に聞いていた情報をもとに会場設営を行い培養土や花苗など資材の準備を手際よく臨機応変に行って生徒さんを迎えました。

黒瀬講師の花苗や工程の丁寧な説明で始まりました。花苗の説明では、園芸療法の「五感」に刺激を与える内容で、花を見て、花を匂って香りを感じ花や葉を触って触感を感じてくれていました。培養土も匂って土の香りを感じてもらいました。初めて直に土を手で触った生徒さんもいました。生徒さんが見せる表情に先生方も驚かれています。

その後は、先生の支援を受けながら土入れで土を入れたりスタッフと一緒に話しをしたりしながら作業をしました。先生が優しく声かけをして生徒さんの表情を見ながらゆっくりと作業を進められ作業中にも笑顔が見られました。スタッフも生徒さんの様子を見ながら自主性を大切に声かけや実態に配慮した支援を行っていました。ICT活用で日頃から使用しているタブレットで授業のスケジュールを確認する光景も見られました。

シロタエギク、スイートアリッサム、ビオラ、パンジーが個性豊かにプランターに植えられました。

室内での作業の後、外にプランターを運んで生徒さんは水やりの練習を黒瀬講師の指導で体験しました。

積極的な生徒さんが多くて生徒さんの実態に応じて水の量などを調整して楽しみながら水やりを経験しました。

今回の園芸福祉体験学習も経験豊かなスタッフの方々のおかげで、みんなが楽しみながら活動することができました。



## ★新会員紹介★



近藤 由紀子

はじめまして。新会員の近藤由紀子と申します。  
先日、福岡市役所の花壇管理の活動に参加させていただきました。  
先輩方と楽しく花の手入れをし、きれいになっていく花壇を見るのは気持ちのいい時間でした。  
日頃内気で口下手な私なのですが、花を介すると人との交流もぐっと楽しく感じられます。きっと私だけでなくどなたにとっても植物には心をほぐす力があるのではないかなあと感じています。  
これからも植物と人との繋がりが広がっていくように会員の皆さんと活動を続けていけたら嬉しいです♪  
どうぞよろしく願いいたします。

## ★回想記★



嶋添 裕子

園芸福祉ふくおかネットの設立当初からこれまで20年近く活動してきました。  
振り返れば沢山の思い出ばかりですが、会員の皆さんと活動した園芸福祉の庭、特に「視覚に障がいのある人たちと一緒に楽しむ花壇」は印象深いです。そして地域小学校の花壇づくりでは、子ども達と一緒に花を植えるのが楽しい時間でした。現在、東市民プールで指導員をしており、水（水泳）と土と自然の力で元気を頂いています。退会はしましたが園芸福祉の庭を時折散歩して、皆さんの活躍を見守り続けます。ありがとうございました。

## シンポジウムのご案内



今年は「浜名湖花博2024」が開催され、5月19日、ガーデンパーク会場内で、博覧会の催し物の一つとして「園芸福祉シンポジウム」が開催されます。アフターコロナのシンポジウムに期待が高まります。

# お知らせ

- 園芸福祉ふくおかネット 第21回通常総会  
総会は5月25日(土)を予定しています。  
詳細が決まり次第ご連絡させていただきます。

## ▽「園芸福祉の庭」定例作業

- ◆定例作業/第2月曜日・最終日曜日 10時～12時（6月～9月は9時～11時）
- ◆ところ/アイランドシティ中央公園 園芸福祉の庭（福岡市東区香椎照葉4丁目）  
※雨天の時は中止、次週に変更です。

## ▽入会手続きのご案内

- ◆入会を希望される方は事務局（下記掲載）にご連絡下さい。  
その後下記の口座に年会費2,000円をお振り込み頂き入金確認後に入会となります。
- ◆活動と一緒にされているお仲間やお友達など、園芸福祉に関心をお持ちの方がいらっしゃいましたらお気軽にお誘い下さい。
- ◆お振り込み先/西日本シティ銀行 小笹支店 店番222 普通貯金 口座番号1025817  
園芸福祉ふくおかネット 代表 黒瀬恵子

### 園芸福祉ふくおかネット事務局

〒811-1351 福岡市南区屋形原2-40-6-1  
TEL 090-5020-8758（北野）  
FAX 092-553-8066  
E-mail engeifukushi.fukuoka@gmail.com  
URL <https://www.engeifukushi-fukuoka.net/>  
花便り第59号 令和6年3月  
編集・発行/園芸福祉ふくおかネット